



Hello峰山



市HP内掲載記事へ

峰山町の人口

単位:人

	R2.7末	前月比	R2.6末
0歳～14歳	1,471	-11	1,482
15歳～64歳	6,694	4	6,690
65歳～	3,919	4	3,915
合計	12,084	-3	12,087

峯山海軍航空隊・飛行場

終戦から75年 峰山に残る戦争の遺構

今年で終戦から75年を迎えました。峰山に数々の戦争の遺構があることはご存じですか。

今年で終戦から75年を迎えました。峰山に数々の戦争の遺構があることはご存じですか。周囲の地形や気候などを考慮した結果、候補に挙げたのは現在のマイン周辺の平地でした。軍は田畑を強制買収したあと、数年にわたって工事を行い、幅80m、長さ800mの滑走路が竣工しました。滑走路の延伸工事の際には、小学生も駆り出されて作業にあたったとされています。

飛行場の存在もあり、新町や河辺は空襲の被害を受けました。1945年(昭和20年)の7月30日、8月7日には、数十機の戦闘機による機銃掃射や爆弾投下が行われました。防空壕や、新町東側の山奥に逃げこんだそうです。現存する旧弾薬庫には、弾痕や爆撃を受けた形跡が見られます。また、滑走路に爆弾が落ちて穴があいた時は、トラックで土石を運び、徹夜で復旧作業を行ったそうです。

峯山海軍の飛行場

新町公民館前には、錨マークが入ったマンホール蓋が展示されています。これは、かつて新町から河辺にまたがり存在した峯山海軍航空隊の飛行場に設置されていたものです。1937年の盧溝橋事件以降、仮想敵国であるソ連の攻撃から舞鶴軍港を守るため、近辺

新町公民館前には、錨マークが入ったマンホール蓋が展示されています。これは、かつて新町から河辺にまたがり存在した峯山海軍航空隊の飛行場に設置されていたものです。1937年の盧溝橋事件以降、仮想敵国であるソ連の攻撃から舞鶴軍港を守るため、近辺



新町公民館前のマンホール蓋



この市道と国道との間が飛行場でした



新町にある弾薬庫跡



現存する第4格納庫(新町公民館付近)



飛神隊・武部隊が岩国基地へ発進(S20.7.19)

特攻隊「飛神隊」

飛行場では主に、予科練と呼ばれる練習生の飛行訓練が行われていました。1945年、実戦部隊である特攻隊「飛神隊」が編成され、特攻のための訓練が始まりました。その後、鹿屋基地(鹿児島)や岩国基地(山口)に配備され待機していたところ、出撃寸前で終戦を迎えます。

参考文献

- ◆「河辺飛行場の記録と記憶―海軍峯山航空隊と住民の回想―」(河辺探訪会、2019)
- ◆「青春の軌跡(続)―峯山海軍航空隊特攻隊「飛神隊」の全記録―」(峯空会、2004)



初老の年に...

長岡区民ら掲示板を新調

長岡区では、初老を迎える区民ら9人によって、老朽化した掲示板が新しいものに取り換えられました。過去には鏡を贈呈したりと、区民が積極的に区の運営に関わっておられます。